

令和6年2月 第2回定例庁議

- 1 開催日時 令和6年2月20日（火）午前9時30分～午前10時00分
- 2 開催場所 4階特別会議室
- 3 付議事項（第6条）

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

令和6年度の予算案大綱を定例記者会見で発表した。3月定例会や予算特別委員会では、本大綱などを基に質疑されることから、十分な準備をお願いする。

(2) 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

①第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画について（健康福祉部長）

令和5年12月18日（月）の庁議にて審議後、パブリックコメントを実施し、1名から3件の意見をいただいたが、計画の変更を要するものではなく、庁議でお示しした計画案のとおり決定したいと考えているので、審議をお願いする。

（資料に基づき説明＝健康福祉部福祉課副課長）

・ピアサポートはどのような仕組みか。（副市長）

→障がいのある人自身が、自らの体験に基づいて、同じ障がいのある方を支える仕組みである。県の研修を受けてピアサポーターとして登録し、支援活動を行っている。

②学校施設長寿命化計画の見直しについて（教育部長）

城東小学校校舎や綾歌中学校の屋内運動場を長寿命化改修から改築に変更するなど個別に見直を行ってきたが、昨今の社会情勢の変化に伴い、計画期間や工期の見直しが必要となったので審議をお願いする。

（資料に基づき説明＝教育部総務課副課長）

・優先順位の見直しにより前倒しで改修を行うのはどこの学校か。（市長）

→城辰小学校と垂水小学校、飯野小学校、南中学校について前倒しで改修を行う。

・来年度の健全度調査でも、改修から改築に移行する学校が出てくるのではないかと考えるが、計画の見直しと改修から改築への移行による財政的負担が非常に大きい。学校、地域等から要望があるのは理解できるが、説明のうえ事業費を平準化していただきたい。（総務部長）

→教育民生委員会で説明した際、議員より飯山南小学校付近の活断層についての指摘があったほか、不同沈下している箇所等があることから、建築技師の見解で改修は不可能と判断し、他の学校との平等性も考慮して改築を検討した。

・子どもの安全が第一だが、優先度をつけての対応をお願いする。（総務部長）

- (3) 報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

なし

4 その他

- ①第76回香川丸亀国際ハーフマラソン大会の結果について（市民生活部長）

各部からの応援職員増員もあり、無事に開催ができたことに感謝申し上げる。出走者数は8,005人となっており、昨年度に比べて1,125人増加しているが、コロナ禍前の水準には戻っていない。沿道の観客数については昨年度より少し減少している。大会運営要員総数は約3,100人と昨年度より約300人減少しており、今後の課題と考えている。競技結果については、男子の部で日本学生新記録が出ており、女子の部も大会新記録が出ている。

・申込者数9,250人に対し、出走者数は8,005人と乖離があるが、コロナ前の状況と比較してどのように変わっているか。（副市長）

→申込者数と出走数との乖離はコロナ禍前の状況と大きく変わっていない。

→当日の天候が大きく影響すると考えられる。（総務部長）

→当日参加の仕組みを考える際の材料となりうるものと考えている。（副市長）

・高知龍馬マラソンは次年度から定員を大きく減らすと発表している。1万人規模のハーフマラソンは全国的に珍しく、ランナーの渋滞など危険性が懸念される。申込者数も定員割れしているという状況も踏まえ、定員減について検討していただきたい。（総務部長）

- ②地域防災計画の修正について（市長公室長）

庁内各課や県との調整を経て修正したので確認をお願いする。3月21日（木）予定の防災会議で正式に決定する予定である。

（資料に基づき説明＝市長公室危機管理課防災アドバイザー）

- ③第75回丸亀お城まつりについて（産業文化部長）

例年どおり5月3日（金・祝）、4日（土・祝）開催で進めている。主に産業文化部の職員で対応する予定だが、人員が不足する部分については、応援職員を個別に依頼するので協力をお願いする。

- ④G I 四国地区選手権競走について（ポートレース事業局次長）

2月11日（日）から16日（金）までの6日間、G I 四国地区選手権競走を開催した。売上額は約84億4,200万円となっており、目標金額80億円を上回った。期間中は1万3,000人を超える来場があり、来賓として議員の方の来場が多くあった。多くの職員にも来場いただき感謝申し上げます。

5 副市長から

予算特別委員会で様々な意見が出ており、各担当が回答する場面も多くなることが想定される。質問内容を十分に把握し、端的に答弁するよう徹底していただきたい。

6 出席状況

(1) 庁議構成者（第5条）

職	氏名	出欠
市長	松永 恭二	○
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート 競走事業管理者	大林 諭	欠
市長公室長	栗山 佳子	○
総務部長	七座 武史	○
健康福祉部長	奥村 登士美	○
市民生活部長	田中 壽紀	○
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業文化部長	林 裕司	○
ボートレース 事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	窪田 徹也	○
消防長	浪指 孝章	○
議会事務局長	渡辺 研介	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室職員課長	徳 田 寛
総務部財政課長	高 倉 鋭 悟
健康福祉部福祉課長	近 藤 武
健康福祉部福祉課副課長	十 河 久美子
健康福祉部福祉課障がい福祉担当長	森 玲 子
教育部総務課長	吉 野 隆 志
教育部総務課副課長	安 藤 正 三
市長公室危機管理課主任	大 野 貴 之
市長公室危機管理課防災アドバイザー	松 村 朝 生

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長	真 鍋 裕 章
市長公室秘書政策課政策マネジメント室長	宇 野 大志郎
市長公室秘書政策課主任	横 井 俊 介
市長公室秘書政策課主任	大 川 智